

令和7年度 自己評価結果報告書

学校名

成田市立玉造中学校

1 学校教育目標

徳・知・体の調和が取れ、未来を切りひらく力をもった生徒の育成を図る

2 本年度の重点化された具体的な目標

(1)認め、ほめて伸ばす指導 (2)わかる授業の実践 (3)特別支援教育の充実 (4)生徒指導の充実
(5)学年・学級経営の充実 (6)地域とともにある学校の実現 (7)道德教育の充実
(8)ユネスコスクールとしての活動の充実

3 自己評価結果

分野・領域	評価項目	評価の指標	取組状況	改善の方策
教育課程 学習指導	先生の教え方には工夫がされていて、授業がわかりやすい。 教育課程は年間指導計画を踏まえ適切に実施できている。	89.9%の生徒から肯定的評価を得た。	A	少人数指導や学習支援室、リモート授業などを活用し、生徒の学習機会の保証に努めた。年間指導計画を常に意識しながら授業を進めている。
		87.7%の教職員から肯定的評価を得た。	A	
生徒指導	玉造中学校の生徒でよかったと思う。 自分は、学校教育目標「徳・知・体の調和が取れ、未来を切り拓く力をもった生徒の育成」を意識した教育実践が行えている。	92.7%の生徒から肯定的評価を得た。	A	生徒を認め、ほめて伸ばす指導、支援の徹底をさらに図っていく。自主・自律を大切に、自治的な学校経営や運営を行えるように努める。
		95.8%の教職員が肯定的評価を行った。	A	
特別支援教育	学校は、ちがいを認め、生徒一人一人の特性を理解し、個に応じた指導をしている。 特別支援教育について研修し、理解を深め個に応じた教育活動ができている。	82.1%の保護者から肯定的評価を得た。	B	特別支援教育と合理的配慮の研修を行い、理解を深めていく。個々の生徒の特性に応じた指導ができるよう情報共有、共通指導を行う。
		75.0%の教職員が肯定的評価を行った。	B	
組織運営	校務分掌は教職員の特性が生かされ適材適所の配置になっている。 校務分掌は分掌量の偏りなく組織的に機能している。	95.9%の教職員から肯定的評価を得た。	A	教職員の働き方改革を進めるとともに、組織運営の効率化やスリム化を図る。分掌の偏りが生じないように、縦横の組織体制を構築していく。
		83.4%の教職員から肯定的評価を得た。	B	
研修	本校の実態に即した研修体制が機能している。 教職員としてのキャリアステージに応じた資質能力向上のための十分な研鑽を行っている。	91.7%の教職員から肯定的評価を得た。	A	外部からの講師をはじめ、校長や校内の研修受講者を講師として効率よく研修を行った。今後も継続し、資質能力の向上に努める。
		91.3%の教職員から肯定的評価を得た。	A	
保護者、地域住民との連携	学校は、こどもの様子を学年・学級通信や学校HP等で伝えている。 学校は、電話の対応、訪問時の対応等心遣いを感じる。	89.7%の保護者から肯定的評価を得た。	A	今後も学校だよりや学年、学級だよりを発行し、学校等の様子を発信していく。HPは必要に応じて整備を進めていく。電話や来校者に対しては引き続き、丁寧に誠意を持って対応していく。
		95.3%の保護者から肯定的評価を得た。	A	

4 自己評価の結果の分析

本校職員は、生徒たちのために、声を掛け合いながら何事にも前向きに、組織体制を整えて取り組んできた。自己評価結果を受けて、常に学校教育目標を意識して教育実践を行っている職員が95.8%を占めた。学校経営にとっての根幹である学校教育目標の達成に向けて、引き続き、重点目標を意識しながら生徒の育成に取り組んでいく。また、生徒が自己肯定感を感じることができるように「認め、ほめて伸ばす指導」を心がけるとともに、善悪の判断をしっかりとできる生徒の育成に努めていく。

教育課程における年間指導計画の適切な実施について、年度当初にシラバスを提示することで、教員は元より、生徒、保護者とともに進捗計画等を共有した。特別支援教育においては、個に応じた、個別最適な学習についての研修や生徒の特性に応じた指導の研修等を行っているが、年度が変わることで、教員の人事異動や校内人事の関係で担当が代わる可能性がある。研修を積み重ね共通理解を深めていくことや確実な情報の伝達、引継を行っている。

学校組織、特に分掌関係については、適材適所の配置を行っている様子が窺えるが、分掌の偏りがあることは否めない。縦、横の繋がりをさらに強固なものにすることで、一人の職員に負担が集中しないように取り組んでいきたい。本校は、若手から中堅の職員が多く在籍している。それぞれのキャリアに合った、また、キャリアアップに向けた研修を引き続き実施し、さらなる人材の育成を図っていきたい。

地域に開かれた学校をめざし、学校だよりをはじめ、学年、学級だより等で情報を発信するとともに、必要に応じてHPの整備を進めていきたい。また、電話対応や来校等保護者や地域の方々には、引き続き、誠意を持って対応していく。

どの項目においても数値を上げられるような取組をしているところであるが、数値にとらわれすぎることがないよう、職員一同、温かい心で生徒の成長を支援したり、時には指導したりしていきたいと考える。